

令和３年度 第２回 桜井市地域公共交通活性化再生協議会 次第

日時：令和４年１月２５日（火） 午後２時から

場所：桜井市役所 本庁 大会議室

１． 開 会

２． 挨拶 会長 笹谷 清治

３． 議 事

１． 令和３年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（自己評価）について

資料１ 事業評価実施細目に基づく事業評価記載様式

資料２ 近畿様式の事業評価シート

資料３ 広報わかざくら ２０２１年５月号 交通特集

２． 桜井市公共交通実態調査の実施について（報告）

資料４ 桜井市地域公共交通実態調査の実施について

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名:	桜井市地域公共交通活性化再生協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	桜井市は奈良盆地の中央東南部に位置し、面積は98.91平方キロメートル、人口は55,776人(令和3年11月30日現在)である。 近年は人口減少が進み、民間バス路線が撤退する中で生じる交通空白地をカバーするため、また高齢化の進む中で高齢者をはじめとする交通弱者のためにも地域公共交通の確保は不可欠である。 【目的】 桜井市地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通空白地域の解消や買い物・通院、通学などの生活交通の確保を目的とし、桜井市内を運行対象とする「桜井市コミュニティバス」4路線(初瀬・朝倉台線、南循環線、西北部循環線、多武峯線)、並びに桜井市東部の上之郷地域(初瀬川上の一部(初瀬715番地以北)を含む)における「デマンド型乗合タクシー」を運行し、地域住民の利用促進を積極的に図り、運行事業計画を改善しながら、地域公共交通確保維持改善事業に取り組む。 【必要性】 本市の地域公共交通システムを確保するためには、基幹路線である鉄道・路線バスと地域内路線(フィーダー機能を含む)であるコミュニティバス・デマンド型乗合タクシーなどの運行を組み合わせた地域公共交通ネットワークが必要である。このネットワークにより、地域住民は市内外への自由な移動が可能となる。コミュニティバスは、市民の生活交通の確保及び登下校のための交通手段として運行している。また、桜井市に来訪された方を対象とした観光路線としても利用されている。 デマンド型乗合タクシーは、公共交通空白地域である桜井市東部の上之郷地域(初瀬川上の一部(初瀬715番地以北)を含む)における生活交通の確保のために、鉄道駅や総合病院のある中心市街地を結び、高齢者等の買い物・通院などの手段として利用されている。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月25日

協議会名: 桜井市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (多武峯線) 運行区間: 桜井駅南口～談山 神社 運行区間: 令和2年10月～令和 3年9月	【前回の事業評価結果】 引き続き観光施策やまちづくり施 策と連携した利用促進の取組を行 う。 また、生活路線としても、地域住 民にマイバス意識を持ってもらうた めの取組を行うとともに、より利便 性の高いダイヤや路線について検 討する。 目標を達成した路線も含め、上 記の取組を行うとともに、さらなる 需要の掘り起こしを図る。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 目標値である7.3名/便に 対して、実績は4.8名/便で あった。前回の事業評価に おける実績は5.2名/便で あった。	昨年度同様、全体的に新型コ ロナウイルス感染症拡大の影響 により、実績が下がった。 今後は、新型コロナウイルス 感染症拡大状況を注視しつ つ、観光施策やまちづくり施策 と連携した利用促進の取組を 検討する。 路線の再編については、引き 続き地元協議と協議会での検 討を行う。 また、利用促進のため、公共 交通の周知に取り組む。
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (初瀬・朝倉台線) 運行区間: 桜井駅北口～吉隠 柳口 運行期間: 令和2年10月～令和 3年9月	【反映点】 観光施策やまちづくり施策と連携 した利用促進の取組については、 新型コロナウイルス感染症の影響 により、実施できなかった。 生活路線としてマイバス意識を 持ってもらうため、市広報紙にコ ミュニティバスに関する記事を掲載 し、周知に取り組んだ。 ダイヤや路線の再編について、 地元協議を重ね、協議会で検討を 行い、一部路線(西北部循環線)に ついては令和3年10月より再編を 実施することで決定した。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 目標値である4.4名/便に 対して、実績は3.1名/便で あった。前回の事業評価に おける実績は3.3名/便で あった。	
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (南循環線) 運行区間: 桜井駅北口～安倍 文珠院～桜井駅北口 運行期間: 令和2年10月～令和 3年9月	観光施策やまちづくり施策と連携 した利用促進の取組については、 新型コロナウイルス感染症の影響 により、実施できなかった。 生活路線としてマイバス意識を 持ってもらうため、市広報紙にコ ミュニティバスに関する記事を掲載 し、周知に取り組んだ。 ダイヤや路線の再編について、 地元協議を重ね、協議会で検討を 行い、一部路線(西北部循環線)に ついては令和3年10月より再編を 実施することで決定した。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A 目標値4.0名/便に対して、 実績は4.7名/便であり、目 標値を達成できた。前回の 事業評価における実績は 4.4名であった。	
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス (西北部循環線) 運行区間: 桜井駅北口～山の 辺病院～桜井駅北口 運行期間: 令和2年10月～令和 3年9月	観光施策やまちづくり施策と連携 した利用促進の取組については、 新型コロナウイルス感染症の影響 により、実施できなかった。 生活路線としてマイバス意識を 持ってもらうため、市広報紙にコ ミュニティバスに関する記事を掲載 し、周知に取り組んだ。 ダイヤや路線の再編について、 地元協議を重ね、協議会で検討を 行い、一部路線(西北部循環線)に ついては令和3年10月より再編を 実施することで決定した。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A 目標値4.0名/便に対し、 実績は5.3名/便であり、目 標値を達成できた。前回の 事業評価における実績は 4.8名/便であった。	
日の丸交通株式会社	系統名: 桜井市デマンド型乗合 タクシー 運行区間: 上之郷地域～済生 会中和病院 運行期間: 令和2年10月～令和 3年9月	前回の事業評価結果の通り、 更なる利便性の向上の為、ダ イヤ等を利用者と協議しながら 運営した。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 目標値2.7人/便に対し、実 績は2.1人/便であり、目標 値を達成できなかった。	更なる利便性の向上・運行の 効率化のため、ダイヤ等を利用 者と協議しながら運営する。

桜井市地域公共交通活性化再生協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

【市の概要】

人口：55,776 人（令和 3 年 11 月 30 日現在）

※人口は平成 11 年の 64,728 人をピークに減少し続けている。社会増減においては、20 代・30 代の若者の市外への転出が全体の転出超過の大きなウェイトを占めており、子育て世代の転出超過が、出生率の低下にも影響を及ぼしている。

面積：98.91 平方キロメートル

高齢化率：31.9%（令和 3 年 11 月 30 日現在）

奈良盆地の中央東南部に位置し、北は天理市及び奈良市、東は宇陀市、南は明日香村及び吉野町、西は橿原市及び田原本町と接している。奈良市まで 20km 圏、大阪市へは 40km 圏に位置する。

鉄道は、近鉄大阪線（大福駅・桜井駅・大和朝倉駅・長谷寺駅）と JR 西日本桜井線（巻向駅・三輪駅・桜井駅）の 2 線が運行している。桜井駅で乗り換えが可能。近鉄大阪線は桜井駅から東西に、JR 西日本桜井線は桜井駅から北と西にそれぞれ運行されている。

路線バス（運行事業者：奈良交通㈱）は、桜井駅を中心に、天理市へ伸びる天理桜井線、明日香村へ伸びる桜井飛鳥線、宇陀市へ伸びる桜井菟田野線の計 3 路線が運行されている。

桜井市コミュニティバス（運行事業者：奈良交通㈱）は、奈良交通路線バスの路線休止に対する申し入れをきっかけに、平成 17 年 10 月から運行を開始した。

桜井駅を中心として、市の北西部を走る西北部循環線、中心部を走る南循環線、南部を走る多武峯線、東部を走る初瀬・朝倉台線の計 4 路線が運行されている。

デマンド型乗合タクシー（運行事業者：日の丸交通㈱）は、バスの運行が難しい中山間地を対象とし、平成 22 年 4 月より上之郷地域、平成 27 年 12 月より高家地区の住民を対象に運行を実施している。

【第 2 次桜井市地域公共交通総合連携計画（H26.3）】

コミュニティバスの利用者数が年々減少の一途をたどる中、民間路線バスについても、バス事業者より全面的な運行見直しの申し出があった中で、「桜井市地域公共交通活性化再生協議会」において、民間路線バスの再編の検討方向を見通し、公共交通に関する利用状況や市民ニーズ並びに観光動向等を調査し把握することにより、桜井市コミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーの活性化を図るため「第 2 次桜井市地域公共交通総合連携計画」を策定した。

公共交通に関する課題

- ①コミュニティバスの効率的・効果的な運行への見直し
- ②奈良交通路線バスの運行見直しに伴う適切な運行の検討
- ③交通空白地域についての対応
- ④通学利用の運行継続と改善
- ⑤活力ある地域づくりへのモビリティ（移動のしやすさ）の確保
- ⑥観光路線としての公共交通の可能性検討
- ⑦地域参加の仕組みづくり
- ⑧財政負担と住民の利便性・ニーズとのバランスの検討

公共交通活性化の目標

- ◎交通空白地域における公共交通等による移動の確保
- ◎近隣市町村と連携した効率的で利便性の高い運行路線・体制の再編
- ◎来訪者の観光利用にも便利な回遊路線の設定と情報提供
- ◎モビリティ・マネジメントの推進＝車から公共交通への利用転換
- ◎持続可能な運行システムや住民・企業参加のしくみづくり

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添で添付して下さい。

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

【評価の考え方】

持続可能な運行に向けて、「一便あたりの利用者数」を指標として設定し、運行実績を評価・分析。次年度の運行計画に反映する。

【各路線の評価指標】

初瀬・朝倉台線 4.4 人/便

循環路線 4.0 人/便

多武峯線 7.3 人/便

上之郷デマンドタクシー 2.7 人/便

桜井市地域公共交通運行実施計画において設定。平成 25 年度の実績値と、住民アンケート等より試算した交通潜在需要等より算出。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

◎交通空白地域における公共交通等による移動の確保

◎近隣市町村と連携した効率的で利便性の高い運行路線・体制の再編

- ・平成 27 年 6 月 公共交通再編（コミバス路線の再編、新規路線開設、高家デマンド型乗合タクシーの運行開始。交通空白地解消。）
- ・平成 29 年 6 月 公共交通再編（2 年間の実証運行結果を踏まえ、利用者が少ない路線を統廃合、ダイヤを改正）
- ・奈良交通路線バスについては、奈良県地域交通改善協議会にて、奈良県・近隣市町村と連携しながら活性化に取り組んだ。

◎来訪者の観光利用にも便利な回遊路線の設定と情報提供

- ・多言語案内看板の設置、コミュニティバス路線・バス停のナンバリング（H30. 3）
- ・インバウンド向け観光ホームページ「YAMA TO」の Google Map にバス停情報やバスを利用した観光モデルコースを掲載（H31. 3）

◎モビリティ・マネジメントの推進＝車から公共交通への利用転換

◎持続可能な運行システムや住民・企業参加のしくみづくり

公共交通空白地域の解消や生活交通の確保を目的として、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを運行しているが、運行経費が年々増加する一方、利用者数は近年横ばいに推移しているものの、運行開始当初からは減少している状況にある。持続可能な公共交通の実現のため、経費の削減や利用促進に繋がる効果的かつ効率的な方策を見出す必要に迫られる中、平成 30 年度に、国土交通省近畿運輸局との間で、地域公共交通に関する「地域連携サポートプラン」協定を締結した。

サポートプランの中でも利用実態に応じたコミュニティバスの効率的な運行を求められており、地域住民と調整を行っている。西北部循環線については、地元区長会と再編案（コミュニティバス西北部循環線の減便と穴師・江包地区へのデマンド型乗合タクシー導入）について合意し、令和 3 年 10 月より再編を実施することに決定した。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
桜井市コミュニティバス	桜井市・奈良交通(株)	平成 17 年度～	フ	4 路線運行。奈良交通(株)に業務委託。
上之郷デマンド型乗合タクシー	桜井市・日の丸交通(株)	平成 22 年度～	フ	市東部の山間部（上之郷地域）限定で運行。日の丸交通(株)に業務委託。

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
奈良交通路線バス	奈良交通(株)	平成 26 年度～	奈良交通(株)独自で運行。3 路線。経費のうち県と国の補助金と運賃収入を除いた赤字分を関係市村で負担している。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
高家デマンド型乗合タクシー	桜井市・日の丸交通	平成 27 年度～	市南西部の山間部（高家地区）限定で運行。日の丸交通(株)に業務委託。

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
利用促進の取組	・コミュニティバス等の沿線にある公共施設や買い物施設等での時刻表パンフレットの配布を実施。 ・感染予防対策として、バス車両・タクシー車両の透明シートや消毒液などの設置に要した費用を助成。 ・市内公共交通（バス、タクシー）で利用できる地域公共交通利用券（100 円分×10 枚）を 75 歳以上の方を対象に配布。（利用期間：令和 3 年 12 月 31 日まで） ・令和 3 年 5 月号の市広報紙で、公共交通に関する特集記事を掲載。	公共交通の利用促進

4. 具体的取組に対する評価

多武峯線…目標値 7.3 名/便→実績 4.8 名/便

（前回の実績値は 5.2 名/便）

目標には届かなかった。前々回の実績値は 6.6 名/便。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

循環路線…目標値 4.0 名/便→実績 4.7 名/便（南循環）、5.3 名/便（西北部循環）

（前回の実績値は 4.4 名/便（南循環）、4.8 名/便（西北部循環））

目標値を達成したが、前々回の実績値は 6.0 名/便（南循環）、6.2 名/便（西北部循環）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

初瀬・朝倉台線…目標値 4.4 名/便→実績 3.1 名/便

目標には届かなかった。前回の実績値は 3.3 名/便。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した。

上之郷デマンド型乗合タクシー…目標値 2.7 名/便→実績 2.1 名/便。

目標には届かなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
地域住民にマイバス意識を持ってもらうための利用啓発	令和4年9月号の市広報紙で、公共交通に関する特集記事を掲載する予定。
観光施策やまちづくり施策と連携した利用促進	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しながら、観光部局と連携した利用啓発の取組を検討する。 その際は、地方創生臨時交付金等の活用も検討する。
持続可能かつ利便性の高い路線再編の検討	引き続き、コミュニティバスの効率的な運行のため、地元との協議や、協議会での検討を重ねる。

桜井市地域公共交通活性化再生協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
【コミュニティバス】 目標・効果について達成できなかったところはあるものの、事業実施の適切性については評価できる。 国内外からの観光需要に対する情報発信を継続し、観光施策やまちづくり施策とも連携した利用促進を進められたい。 【デマンド型乗合タクシー】 適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 更なる利便性向上のためには、利用者の通院・買物等の目的を踏まえ、効果的な運行時間帯等を検討し、利用方法の周知等にも努められたい。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光施策やまちづくり施策と連携した利用促進の取組は実施できなかったが、利用促進の取組のひとつとして、市広報紙に、バス車両の抗ウイルス・抗菌処理等の公共交通に関する周知の記事を掲載した。また、市民の移動支援として、地域公共交通利用券を配布し、公共交通の利用促進に取り組んだ。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ、観光施策やまちづくり施策と連携した利用促進の取組を検討する。 また、引き続き公共交通の利用促進として周知に取り組む。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

平成26年度に策定した「第2次桜井市地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成27年6月に大規模なコミュニティバスのルート・ダイヤ再編を行い、2年間の実証運行の結果を受けて、平成29年6月にコミュニティバス循環線を再編した。より利便性の高い公共交通ネットワークの実現に向けたPDCAサイクルを実施できたことで、交通空白地を解消することができた。

また、生活交通としてのみならず、観光需要を掘り起こし、利用者を増やしていくことを目的に、交通結節点である桜井駅において、鉄道利用者がスムーズにバスを乗り継ぐことができる環境を整備するため、各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板の設置、コミュニティバスの路線・バス停ナンバリングを行い（H30）、さらにインバウンド向け観光ホームページ「YAMATO」のGoogle Mapにバス停情報やバスを利用した観光モデルコースを掲載した（H31）。

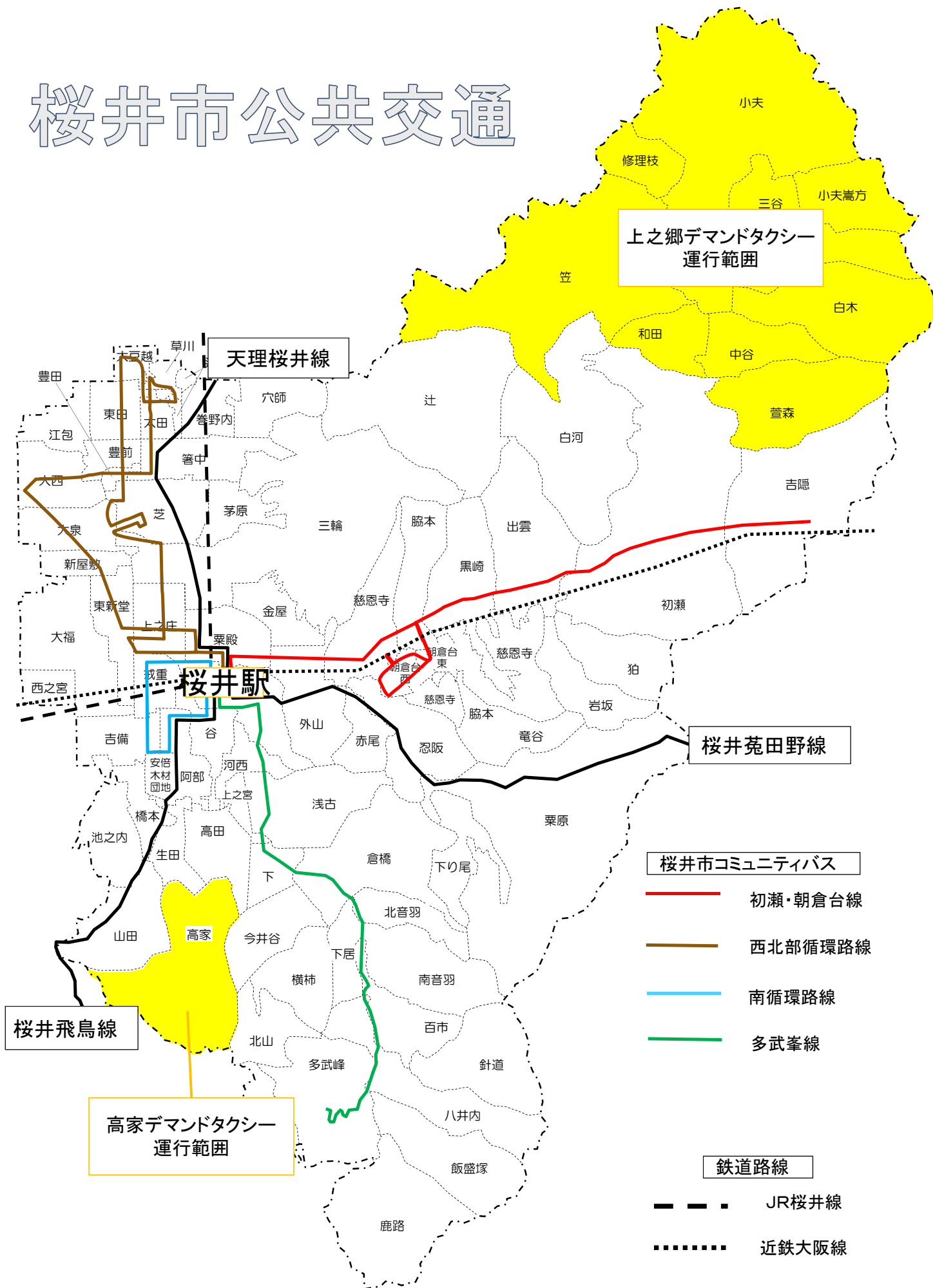
今後も、利便性の水準を保ちつつ、持続可能な運行システムや路線体系を確立していくため、利用者や住民へのアンケート調査を行い、利用者の観点も反映させた上で、再編を検討していく。なお、再編を実施する上で、長期的な取り組みや他機関との役割分担等においても効果的に進めることができるよう、地域公共交通計画の策定を念頭に置いて上記取組を実施する。

また、利用促進については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅にコミュニティバス・デマンドタクシーの利用者数が減少している中、利用者が安心して利用できるように、バス車両・タクシー車両について抗菌・抗ウイルス処理が適切に実施されるべく事業者への補助を行った。さらに、令和3年5月の市広報紙にて、こうした抗菌・抗ウイルス処理が行われていること等を含め公共交通に関する記事を掲載した。

また、高齢者の移動支援及び交通事業者への支援を目的に、市内の移動（バス・タクシー）で利用できる地域公共交通利用券（100円分×10枚）を75歳以上の高齢者に配布した。

今後の見通しが立ち難い中ではあるが、状況を注視しつつ、観光施策やまちづくり施策と連携した利用促進の取組や、住民に対してマイバス意識を持ってもらう取組を検討する。

桜井市公共交通



身近な公共交通
路線バスに乗ろう



消費者月間・新型コロナワクチン接種

身近な公共交通 路線バスに乗ろう

【問い合わせ先】 行政経営課（☎内線256）



市

内では、現在桜井市コミュニティバス3路線（初瀬・朝倉台線、多武峯線、循環路線（西北部・南）と、奈良交通路線バス3路線（天理桜井線、桜井飛鳥線、桜井菟田野線）が運行しています。

これらの桜井市コミュニティバス・奈良交通路線バスは、すべての路線が桜井駅を通っているため、桜井駅を起点に、市役所、大型商業施設、病院等の主要施設に行くことができます。

路線バスの現状

桜井市コミュニティバスは、路線バス廃止の代替として、平成17年に運行を開始し、市民の交通手段として役割を果たしてきました。平成27年には大きな再編を行い、利便性の向上を図っています。ま

た奈良交通路線バスは、バス路線を維持するため、路線の効率化等、様々な対策を実施しています。

しかしマイカーの普及等により、利用は低迷しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の利用者は、近年にないほど減少しました。

国・県・市も運行補助等の支援を行っていますが、利用の少ない路線では運行本数の見直しや路線の存続を検討しなければなりません。

路線バスを利用しよう

「バス」は、目的地まで安心安全に行くことができる交通手段のひとつです。市民の皆さんは、身近な公共交通である「バス」の利用を外出の際は考えてみてください。



新しい生活様式のなかで…

コロナ禍でのバス

コロナ禍では、これまでと違った生活スタイルを私たちの日常生活に取り入れざるを得ません。公共交通機関であるバスも例外ではなく、バス事業者と利用者がともに感染防止対策に取り組むことで、これからも安心して利用できるようにしていかなければなりません。

バスを運行するうえでの対策

桜井市コミュニティバスや奈良交通路線バスでは、様々な感染防止策がとられています。

▽社員の衛生管理

- ・勤務中のマスク着用
- ・手洗いやうがいの徹底
- ・アルコール消毒の徹底

▽社員の体調管理の徹底

- ・出勤時の検温
 - ・点呼時の健康状態確認等
- ▽バス車内の換気
- ・車内換気装置の作動

- ・実施可能な状況における運行中の窓開け

- ・バス停車時は扉を開閉
- ・待機中は扉や窓を開放

▽消毒液で車内を消毒

バス車内の定期的な清掃に加えて、消毒を実施しています。



▽抗ウイルス・抗菌加工

市内運行のコミュニティバス・路線バスでは、特定のウイルスや細菌を持続的に減少・抑制させる抗ウイルス・抗菌剤を車内で乗客が手を触れる場所（つり革、手すり、シート等）をはじめ車内全体に噴霧することで、コーティング加工をしています。



このコーティング加工は、第2次新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金による補助金を活用しています。



▽飛沫感染防止対策

バス運転席付近に透明の防護スクリーンを設置しています。



乗車する人の対策

バスを安心して利用するために協力をお願いします。

- ・バス車内でのマスク着用や咳エチケット等の感染防止対策
- ・バスを待つ際は、他の乗客と間隔を空けてください。

市内のタクシーでは…

■感染防止対策ボードの設置
第1次新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用し、運転席の後ろに新型コロナウイルス感染防止対策の飛沫防護スクリーンを設置しています。

■乗務員の衛生管理
勤務中のマスク着用、手洗いやうがい、アルコール消毒の徹底

■乗務員の体調管理の徹底

■消毒液の常備
車内では消毒液を常備しています。

乗車の際は
換気にご協力ください



バスに乗って

移動してみよう

Lets'go /

出発 9:09



バス停「出雲」



入口で
整理券をとる



桜井駅北口と
アナウンスが流れたら
降車ボタンを押す



桜井市コミュニティバス
初瀬・朝倉台線



到着
9:35

乗り換えます /



バス停
「桜井駅北口」

POINT 乗り継ぎ窓口

桜井市コミュニティバスを桜井駅で
乗り継ぐと乗り継いだ先(2台目)
のバス運賃が190円割引になりま
す。割引を受けるためには、1台目
のバスでとった整理券が必要です。

運賃箱に運賃を入れる
大人 310円
子ども 160円



出発 9:37



桜井市コミュニティバス
南循環線



到着 9:51



バス停「仁王堂」
(済生会中和病院)



運賃箱に運賃を入れる
大人190円・子ども100円
※乗り継ぎ割引の場合、運賃は0円
です。



済生会中和病院の
最寄りである
「仁王堂(済生会中和病院)」
で下車



使ってください

桜井市 公共交通利用券

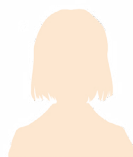


4月下旬に75歳以上の人を対象に1,000円分の公共交通利用券を郵送しました。100円分の券※が10枚つづりになっています。新型コロナワクチン接種や市内での買い物等に活用してください。
※お釣りはできません。

利用できる公共交通機関 (市内発着に限る)

- ・桜井市コミュニティバス
- ・奈良交通路線バス
- ・市内タクシー（デマンドタクシーを含む）

皆さんの声



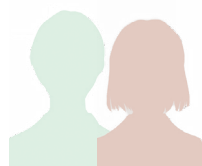
70代女性

通勤で南循環線をよく利用します。歩くと駅から職場まで20～30分かかるので、バスがあってとても助かっています。新型コロナウイルスが流行し始めたときは、歩いたりしましたが、ひざが悪いので大変でした。感染防止対策もしっかりされているので、再びバスを利用するようになりました。

足が悪いので、家からどこかに出かけるときは、バスを利用しています。もう車も運転できないので、遠くへ行るとき等は特に、バスがあってよかったと思います。



70代男性



70代夫妻

ほぼ毎日、買い物や通勤で、バスを利用しています。桜井市コミュニティバスが出来てから特に便利になったと思っています。新型コロナウイルスが流行ったときも、様々な場所から人が乗ってくる電車に比べて、地元の人が主に利用するバスは安心感がありました。移動手段として、子どもや孫をあてにせず、できるだけ公共交通機関を利用して、自分たちだけで移動するようにしているので、バスがなくなると困ります。

天理の病院に行くとき、バスを利用しています。昔は、電車で天理駅まで行き、天理駅でバスに乗り換えて病院まで行っていましたが、乗り継ぎが悪く不便でした。桜井駅からバスに乗ると天理の病院まで1本で行けると知ってからは、便利でいつも利用しています。



60代女性

これからの公共交通

公共交通機関は感染防止対策をしっかりと行っています。利用する皆さんも、感染防止対策をしっかりと行い、安心して公共交通機関を利用してください。

将来にわたって公共交通機関網を確保するためにご協力をお願いします。

桜井市公共交通実態調査の実施について（報告）

1. 背景

- ① 近年利用状況が低迷している広域路線「天理桜井線」について、今後の路線のあり方について、関係機関において早急に検討を行う必要があることから、令和３年度内に同路線の桜井市内における直近の利用状況を把握するための調査を行うよう、奈良県県土マネジメント部地域交通課から要請を受けました。
- ② 国において「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正（令和２年１１月１７日施行）され、各自治体において、「地域公共交通計画」を策定することが努力義務化されたことから、計画策定のための全市域での基礎調査が必要となりました。

2. 調査概要

- ① 桜井市の生活交通に関するアンケート調査（１１月１９日 郵送）
無作為に抽出した、市内在住の１５歳以上の市民（中学生除く）を有する３,０００世帯を対象に調査票を郵送
- ② 桜井市デマンド型乗合タクシーに関するアンケート調査（１１月１９日 郵送）
桜井市デマンド型乗合タクシーの利用登録者（上之郷・高家）を対象に調査票を郵送
- ③ コミュニティバス・路線バス利用者アンケート調査（１１月１３日、１１月１５日）
コミュニティバス利用者に対しては、桜井駅北口で調査票を配布し、路線バス利用者に対しては、バス車内で調査票を交付

■回収数と回収率

種 別			配布数	回収数	回収率
住民アンケート			3,000	1,288	42.9%
デマンド型乗合タクシー 利用者アンケート	上之郷地区		733	257	35.0%
	高家地区		128	48	37.5%
コミュニティバス・路線バス 利用者アンケート	天理桜井線	平日	111	55	49.5%
		休日	156	38	24.4%
	桜井飛鳥線	平日	48	24	50.0%
		休日	45	16	35.6%
	コミュニティバス	平日	264	78	29.5%
		休日	273	73	26.7%

